調査報告

産業建設常任委員会

一、委員会招集月日
平成21年10月22日(木)～23日(金)

二、調査場所
千葉県山武市

三、付託案件名
太陽光発電設備による汚泥コンポスト施設の取組みについて

四、調査に当たった委員
委員長　諸根　重男
副委員長　鈴木　隆司
委　員　根本　信雄
栗崎千代松
熊田　宏

◆調査経過

今回は、会期外による調査計画の変更もありましたが、千葉県山武市による農業集落排水処理施設の維持管理費の節減、環境への配慮を考えた効率的な資源循環の取組みについて調査を実施しました。

山武市ではこれまで進めてきた大平地区による脱水処理方式を変更し、処理施設の建設工事に平行して平成19年度、同敷地内に武野里、稲毛本郷、大平地区の発生汚泥を一元的に処理する集約型コンポスト施設を建設しました。その施設は、計画処理人口5390人対応の処理能力を有し、混合攪拌・加温して短期間で乾燥・2次醗酵まで行う大型プラントで、複数地区を対象とする集約型のコンポスト化施設は、千葉県内の集落排水事業でも初の事例とのことでした。

人事紹介

☆人権擁護委員

住所　矢吹町三城目65番地
氏名　赤塚　功
生年月日　昭和26年4月20日

総務常任委員会

一、委員会招集月日
平成21年11月16日～17日

二、調査場所
群馬県富岡市(市役所)

三、付託案件名
行政改革、集中改革プランの取り組みについて

四、調査に当たった委員
委員長　大木　義正
副委員長　鈴木　一夫
委　員　竹元　孝夫
棚木　良一
遠藤　守
柏村　栄

表紙の一言

新春1月10日、文化センター大ホールにおいて、成人式が開催されました。御祝いを申し上げると共に、今後の人生を期待する事をお祈り申し上げます。

◆調査経過

富岡市行政改革大綱の実施期間は平成18年度から21年度とし、改革の目標として「豊かで元気な富岡市を目指して」改革の視点として「市民との協働」「行政経営」4つの柱として「市民の力を生かした行政経営」「質の高い市民サービスの提供」「持続可能な行政経営」「定員管理の適正化と組織の再編」を基本とし、行政改革、集中改革プランを策定し、財源の確保や効率的な行政運営を目指し取り組んでおり、数値目標や実施時期を設定している。

現行の行政改革大綱は、平成18年度から21年度までの期間となっております。第2次の行政改革大綱の策定作業にすでに5月から着手し、22年3月までに策定することで進んでいるとのことであります。

当町の財政再建3ヵ年集中改革プランとほぼ同じような項目で取り組んでおり、さらに第2次行政改革として継続して取り組むとのことであります。

別件でありますが、現在マスコミで事業の継続か中止かで話題となっております長野原町の「八ツ場ダム」の工事現場も視察しました。ダム予定地内に水没する住民の住居移転工事・ダム護岸工事・付け替え道路工事等工事途中でしたが規模の大きさに驚かされたところでありました。

お待ちしています!

ぜひ、議会の傍聴を!!

3月定例会は
3月12日(金) 午後1時30分開催予定

一般質問は
3月15日(月)・16日(火)の予定

詳しくは町議会事務局(☎42-2118)にお問い合わせ下さい。

編集後記

昨年の漢字は「新」でした。政権交代による新内閣、新型インフルエンザ、新制度(裁判員制度)米国のオバマ新大統領、イチロー選手の新記録、さまざまな話題が世間を駆け巡り、私達を驚嘆させたり、落胆させたりと、枚挙にいとまがありませんでした。今年は、日本にとっても矢吹町にとっても明るい話題でもちきりの一年にしたいものです。

最後に、次号より新しい編集委員で議会広報が発行されます。今後ともよろしくお願い致します。

(文責　鈴木一夫)

委員長　吉田　伸
副委員長　鈴木　一夫
委　員　栗崎千代松
〃　竹元　孝夫
〃　青山　英樹
〃　鈴木　隆司

発行／福島県矢吹町議会　議長　柏村　栄
編集／議会広報編集委員会
昭和52年6月1日創刊
福島県西白河郡矢吹町一本木101
TEL(0248)42・2118
FAX(0248)42・2587
Eメールアドレス　gikai@town.yabuki.fukushima.jp
平成22年2月1日発行
印刷／野木印刷